

2026年 7月 かんべ小児科

病児保育だより



7月に入り、これから本格的な夏が始まります。気候の変化や室内外の温度差で、体温調節が難しい子どもたちにとって体調を崩しやすくなる時期です。また、夏風邪が流行する時期でもあります。手洗い・うがいなど感染予防を行いながら、夏を元気に過ごしましょう。

アデノウイルス感染症ってなに？

アデノウイルスが原因で引き起こす感染症の総称です。

アデノウイルスには多くの型があり、ウイルスの種類によって、

発熱、咽頭痛、結膜炎、胃腸炎、肺炎、出血性膀胱炎などの様々な症状を引き起こします。

感染経路は、咳やくしゃみなどによる飛沫感染、ウイルスに触れた手などを介してうつる接触感染です。

潜伏期間は、5～7日程度で、感染力が非常に強いので注意が必要です。

子どもに多い病気ですが大人にも感染することがあります。

「check」

咽頭結膜熱(プール熱)

38℃以上の発熱を4～5日程度繰り返し、のどの痛みや扁桃腺の腫れ、結膜炎(目やに)が主な症状です。その他にも頭痛や腹痛、食欲不振、下痢などを伴うこともあります。

夏期にプールを介して流行することが多いのでプール熱と呼ばれていますが、夏以外の季節でも感染することがあります。

流行性角結膜炎(はやり目)

目の充血、目やに(目が開けられない程多量に出ることも)、涙目、まぶたの腫れ、

目がゴロゴロするといった異物感や、まぶしさを感ずるなどの症状があります。

目の症状以外にも、耳前リンパ節が腫れることもあります。

胃腸炎

下痢、嘔吐、腹痛などの症状があり、発熱を伴うこともあります。乳幼児に多くみられ、アデノウイルスによる胃腸炎は、下痢の期間が1週間程度と、長引くのが特徴です。こまめに水分をとるなど、脱水症状に気を付けましょう。また、治った後も1ヶ月程度は便からウイルスが排出されるため、オムツ交換後はしっかり手洗いをしましょう。

予防方法は？

マスク、石けんでのこまめな手洗い。

食器や洗面用品、タオルの共有はしないようにしましょう。

治療方法は？

それぞれの症状に応じた対症療法になります。

登園のめやすは？

咽頭結膜熱(プール熱)は、発熱、症状が落ち着いてから丸2日経つまで出席停止です。

流行性角結膜炎(はやり目)は、感染のおそれがなくなってから。医師の判断になります。

胃腸炎は、症状が落ち着き、普段通り食事や水分がとれるようになったら。

6月に利用された方の病気

手足口病 RSウイルス気管支炎 中耳炎
急性上気道炎 喘息性気管支炎 急性咽頭炎
RSV感染症 ヒトメタニューモV気管支炎
など

かんべ小児科 病児保育室

TEL:0956-47-5711

090-3206-5711

(保育室直通)

お気軽にお問い合わせください♪

